

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	交通安全施設維持管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	2	1	12	10	2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり												
施策	42 交通安全の推進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等								
		事業期間		年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	歩行者及び自転車・自動車運転者等全ての道路利用者	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	交通安全施設の適切な維持	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)		
			修繕箇所数・箇所	18目標	最終目標	
			18実績	56	19目標	56
		23目標	56	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	道路の交通安全を確保するため、道路反射鏡・防護柵等の安全施設を点検し、適正な維持管理を行い、交通事故防止と安全で快適な道路環境の整備改善を図る。	交通事故のない、安全で安心・快適な交通社会を確立するため、安全施設の破損に対する市民等からの通報に即応した修繕等の事業	修繕箇所・箇所数	56
	18年度の実績			
	19年度計画	交通事故のない、安全で安心・快適な交通社会を確立するため、安全施設の破損に対する市民等からの通報に即応した修繕等の事業	修繕箇所・箇所数	56

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	6,113	5,991
	事業費計(A)	6,113	5,991
人件費	正規職員所要時間	18年度 30	19年度 30
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	107	107
	トータルコストA+B	6,220	6,098

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	既存交通安全施設の適切な維持管理により交通事故の抑制となっている。	交通事故死傷者数	現状値	814	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	700
	交通事故発生件数		現状値	641	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	550	

この事業を開始したきっかけ 事業の開始時期については不明であるが、カーブミラーやガードレールが設置されてから、その適切な維持管理のためはじめられたと思われる。	事業を取り巻く状況の変化 維持管理が必要な交通安全施設は毎年新設があり増加している	事業に対する市民や議会の意見 カーブミラー等の損傷については、市民から通報がある。少数であるが、損傷について対応が遅いとの苦情がある。
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 常に交通安全施設が適切に活用できる状態にしておくことが、交通事故防止となる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 交通安全施設の損傷等の市民からの通報には即時対応しているが、特定の場所の施設が損傷する傾向もあり設置場所等の工夫が必要。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 対象は道路利用者すべてであるので、見直しは不要。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 交通安全施設が活用できない状況は、道路通行上危険を増大させることになる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) すべての道路利用者に活用されるものであるため、市が1元的に関与する必要がある。		効率的に、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) カーブミラーの向きの修正については、近くの住民が行うことにより早く対応ができる。
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は道路利用者であり妥当。	公平性 評価	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具 体 化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	